ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES
ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を
2013-14年度 国際ロータリー・テーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

NO.1232 平成26年6月3日

◆例会日/週火曜日　12:30～13:30　◆例会場/小諸市鶴巻　音羽
◆事務局/〒384-0025　長野県小諸市相生町1-2-12 エイワンビル2階
TEL 0267-23-8125　FAX 0267-23-2788

2013-2014 役員
◆会　　長 / 小林 秋生　◆副　会　長 / 渡辺 文夫
◆幹　　事 / 清水 良英　◆ｸﾗﾌﾞ広報･情報委員長 / 矢島 栄一

◆点鐘	小林　秋生　会長
◆SAA	前田　博志　委員
◆ｿﾝｸﾞ	君が代　誕生日の歌
◆ﾋﾞｼﾞﾀｰ	中村　茂君（小諸RC）

【会長挨拶】　小林　秋生　会長

5月の終盤から、ず～っと真夏日です。先週の例会で、エネルギーのことを、私なりの思いでお話しを致しましたが、今週はその続きです。地球環境温暖化、あるいは異状気象などが熱気期、温暖期、氷河期、または復活期など、自然現象の地球変温サイクルに依るものであるならば、何としても対応の仕様がなく、生きるもの全てが覚悟して順応するしかありません。

しかし、今、目先の現実を見ると、中国一国で、日本の年間販売の 5 年分のくるまが一年で売れております。即ち、日本もたどって来た車社会の発展が、5 倍のスピードで進んでいる訳です。早く良質なエンジン燃料、あるいはエコカーに切替えないとなりません。電気の消費量も例外ではなく、地球全体では、後進国の文化度に、二乗比例して幾何学的に増加しています。重油･天然ガスなど化石燃料による火力発電も増加しています。今、流行のメガソーラー、風力などでは、産業、電力をまかなうには、遠く及びません。災害対応のリスク対策や、汚染排キ物の処理等を早くクリヤーして原発の稼働を現実化せねばと思われます。リスクの大きい事は避ければ、確かに安全でしょうが、それでは新たな大きな不安を考えなければなりません。地球的な人類の、文化の、経済の、そして環境のバランスが崩れ、大きなマイナスの問題を考えることになると、専門の学術連が云っておりました。

大きなリスクは、技術や方策で乗り越えてこそ、人類の発展が約束されます。くるま社会の問題も先進国の、特に日本の車産業がリードしてエコカー時代を築いて行く。この事が成就出来れば、地球環境が大きく一歩前進をするのではないかと私も思います。ちなみに日本の車社会で、エコカーがお目見えしてから 5 年も経ちますが、その普及の割合は、まだ 5%前後でしかありません。以上、本日のご挨拶と致します。

【幹事報告】　清水　良英　幹事

1. 国際ソロプチミスト小諸よりチャリティーゴルフ大会、礼状

2. 例会変更
佐久コスモスＲＣ
6月30日（月）最終例会の為　　定刻受付あり

◆誕生日祝

橋詰　希望　会員

◆皆勤祝

橋詰　希望　会員（23回目）

湯本　敏晴　会員（23回目）

◆ラッキー賞

NO. 12　中河　邦忠　君

◆ニコ BOX　前田　博志　委員

湯本敏晴君	皆勤賞、ありがとうございます。
中河邦忠君	ラッキー賞、頂きました。
前田博志君	来期もよろしくお願いします。
小林秋生君	次年度へ向けてのクラブ協議会、それぞれのお役目、ご苦労様です
黒田説成君	暑気払いしましょう。
矢島栄一君	次年度、奉仕プロジェクト委員会をよろしくお願いします。

依田晋一君	来月より新しいロータリーが発足します。ご協力の程お願いします。
矢島英夫君	よりよき次年度をむかえるため、大いに検討しあってください。
黒澤明男君	渡辺年度も頑張りましょう！！

清水良英君	今日は相生町商店街振興組合の理事会出席のため、早退します。
コメントのなかった皆さま	小山盛夫君、掛川興太郎君、渡辺文夫君、清水泰男君、小島勝君

次週のプログラム：職業奉仕賞の表彰／次々週のプログラム：卓話

【出席報告】　清水　泰男　委員

	会員数	出席	M･U	欠席	出席率
本　日　　6月　3日	24	20	事前2名	4	81.82%
前々回　　5月21日	24	20	事後0名	4	80.95%

【本日のプログラム】　クラブ協議会「次年度委員会計画検討会」

【写真は懇親会風景ですが、検討会もしっかりやっております】

【最後の締めは依田次期幹事の発声で“一本締め”】